

# 国際政治

181

## 国際政治における合理的選択

日本国際政治学会編

序論 国際政治における合理的選択	飯田 敬輔
レトリックの政策決定ゲーム	鈴木 基史
官邸主導のTPP交渉と政治経済改革	石黒 馨
平和維持活動の創設をめぐる国連と地域的機構の 不完備情報ゲーム	岩波 由香里
覇権国による安心供与装置としてのマルチラテラリズム	林 光
国際危機における単独防衛	小濱 祥子
「強い」停戦合意協定は持続的な平和を導くか	千葉 大奈
韓国政治指導者の合理的選択としての対日敵対行動	籠谷 公司 木村 幹
国内規範と合理的選択の相克	畠山 京子
リベラル・パラドックスが持つ国際危機研究への示唆	崔 正勲
<hr/>	
国際連盟脱退後の日本と通商均等待遇問題	樋口 真魚
<hr/>	
<書評論文>	
E・H・カーとハンス・モーゲンソーとの対話	渡邊 昭夫
<hr/>	
<書評>	
木村幹著 『日韓歴史認識問題とは何か』	波多野 澄雄
カリュウ・ボールディング著 『NGO、政治抗議、市民社会』	岡田 勇
三牧聖子著 『戦争違法化運動の時代』	高光 佳絵

2015年9月刊